



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和4年3月第3回市長定例記者会見

- ・日時 令和4年3月28日(月)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 「第62回全群馬近代こけしコンクール」で
大野雄哉さんが関東経済産業局長賞を受賞しました(資料1)
- 2 市内の飲食業・宿泊業・食品製造業・食品小売業を対象に
「しぶかわフードラブ協力店」を募集します!(資料2)
- 3 フードドライブの資材を貸し出します(資料3)
- 4 地球温暖化対策推進事業により2050年カーボンニュートラル実現へ向けた
取り組みを行います(資料4)
- 5 愛郷ぐんまプロジェクト第4弾に伴うしぶかわ観光応援キャンペーンを
実施します(資料5)
- 6 芝附橋の開通式を開催します(資料6)
- 7 しぶかわリトルベビーハンドブックの配布を開始しました(資料7)

○次回開催予定

日時: 令和4年4月4日(月)午後1時～

場所: 本庁舎記者会見室

市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
3月28日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	15:00	貯筋クラブ健康塾200回記念祝う会	北橋公民館	介護保険課
	17:00	子持産業振興(株)取締役会	子持行政センター	農林課
3月29日(火)	11:30	渋川商工会議所青年部から政策提言書提出	市長応接室	商工振興課
	15:00	渋川商工会議所からの要望に対する回答書提出	渋川商工会議所	商工振興課
3月30日(水)	10:00	芝附橋開通式	芝附橋付近	土木管理課
	13:30	長寿者顕彰	市内	高齢者安心課
	16:00	企業版ふるさと納税に係る寄附企業への感謝状贈呈	グリーンリーフ(株)	政策創造課
3月31日(木)	9:00	辞令交付	大会議室等	人事課
	13:00	市監査委員退任あいさつ	市長応接室	監査委員事務局
4月1日(金)	8:30	辞令交付	大会議室ほか	人事課ほか
	15:00	農業委員会委員任命式及び総会	第二庁舎201会議室	農林課
	16:30	庁議	庁議室	秘書室
	19:00	市消防団辞令交付式	大会議室	危機管理室
4月2日(土)	10:00	小野池桜まつり	小野池あじさい公園	都市政策課
4月3日(日)				
4月4日(月)	9:00	庁議	庁議室	秘書室
	13:00	市長定例記者会見	記者会見室	秘書室
	16:00	渋川広域消防本部新採用職員あいさつ	記者会見室	消防本部

資料1

担当：産業観光部商工振興課 課長 狩野 真洋 電話0279-22-2596 内線4890

「第62回全群馬近代こけしコンクール」で 大野雄哉さんが関東経済産業局長賞を受賞しました

「第62回全群馬近代こけしコンクール」において、渋川市の地域おこし協力隊員として創作こけしの制作活動に取り組んでいる大野雄哉さんが、創作こけしの部で「関東経済産業局長賞」、木地玩具の部で「群馬県知事賞」を受賞しました。大野さんは、同コンクールでは昨年に続いての受賞となります。

1 概要

令和4年2月2日(水)に群馬県庁で行われた「第62回全群馬近代こけしコンクール審査会」において、渋川市の創作こけし産業の後継者として創作こけしの制作活動に取り組んでいる地域おこし協力隊員の大野雄哉さんが、創作こけしの部で「関東経済産業局長賞」、木地玩具の部で「群馬県知事賞」を受賞しました。

2 受賞内容

- (1) 第1部 創作こけしの部 (一品作で未発表作品)

関東経済産業局長賞

作品名「Tiny Dancer」

- (2) 第3部 木地玩具の部

(ロクロ技術を主体とした玩具)

群馬県知事賞

作品名「カエルクリップ」



3 出品数及び受賞作品数

- (1) 第1部：創作こけしの部 = 67作品 (うち受賞作品数・15作品)
(2) 第2部：新型こけしの部 = 124作品 (うち受賞作品数・12作品)
(3) 第3部：木地玩具の部 = 26作品 (うち受賞作品数・4作品)
(4) 第4部：一般の部 = 41作品 (うち受賞作品数・5作品)

4 表 彰

令和4年3月24日(木)に群馬県昭和庁舎3階「正庁の間」で表彰式が行われ、大野さんに表彰状が授与されました。

5 大野雄哉さんのプロフィール

- (1) 氏 名 大野 雄哉 (おおの ゆうや)
- (2) 年 齢 35歳
- (3) 出身地 東京都板橋区
- (4) 着 任 日 令和元年9月2日
- (5) 活動状況

大野さんは、創作こけし分野の後継者育成及び魅力発信等を目的に、令和元年9月2日に渋川市地域おこし協力隊員として委嘱を受け、創作こけし制作に係る技術及び知識の習得等に取り組んでいます。委嘱後は、市と創作こけし産業の継続と発展に資することに関する協力協定を締結している渋川こけし人形会の会員の工房で基礎を学び、現在は、渋川駅前プラザ2階のこけしギャラリーで制作活動をしており、インターネット等で自身の作品の販売も行っています。

参考

○地域おこし協力隊とは

都市地域から過疎地域等の条件不利地域に住民票を移動し、生活の拠点を移した者を、地方公共団体が「地域おこし協力隊員」として委嘱。隊員は、一定期間、地域に居住して、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PR等の地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援などの「地域協力活動」を行いながら、その地域への定住・定着を図る。

○全群馬近代こけしコンクールとは

群馬県の誇る近代こけしを一堂に集め、その魅力を広く紹介し、近代こけし産業の振興発展に寄与することを目的として昭和34年から開催されている。

○渋川こけし人形会とは

渋川市、吉岡町、榛東村のこけし作家及び木地師で構成する団体。会員数22名(令和2年11月現在)。「全国創作こけし美術展 in 渋川」や各種行事等への参加協力、会員間の情報交換及びこけし業界の発展に寄与することを目的に平成18年7月に設立された。

渋川市とは、令和元年7月1日に、地場産業の活性化と地域ブランドの向上を目的として、創作こけし産業の継続と発展に資することに関する協力協定を締結し、渋川駅前プラザ2階の渋川創作こけしギャラリーの運営のほか、後継者育成や創作こけしに係る情報発信を行っている。

○大野さんの「第61回全群馬近代こけしコンクール」(昨年)の受賞内容

- (1) 第1部 創作こけしの部 (一品作で未発表作品)
群馬県知事賞 作品名「ある日の夢」
- (2) 第2部 新型こけしの部 (市場性のあるもの)
前橋市長賞 作品名「猫旅」
- (3) 第3部 木地玩具の部 (ロクロ技術を主体とした玩具)
群馬県知事賞 作品名「クジラメモスタンド」

第62回 全群馬近代こけしコンクール入賞作品一覧

	第1部(創作こけしの部)		第2部(新型こけしの部)		第3部(木地玩具の部)		第4部(一般の部)	
	作品名	作者名	作品名	作者名	作品名	作者名	作品名	作者名
最優秀賞(内閣総理大臣賞)	檸檬女	高見澤 勇寿						
経済産業大臣賞	天の川	藤川 和美	福猫	沖 泰宣				
農林水産大臣賞	樹魂	藤川 正衛	誕生月こけし	田村 昇				
中小企業庁長官賞	未来	宮川 雄一	春を待つ	齋藤 忍				
林野庁長官賞	群青の空	岡本 義弘	さくらさくら	宮川 雄一				
関東経済産業局長賞	Tiny Dancer	大野 雄哉	喜怒哀楽	岡本 灯偉				
関東森林管理局長賞	椿	岡本 有司	華美	田中 重巳				
群馬県知事賞	秋の日	関口 東亜	花便り	岡本 有司	カエルクリップ	大野 雄哉	はらぺこ	原口 英樹
群馬県議会議長賞	斬	岡本 灯偉	瓢箪童	加藤 龍雄				
前橋市長賞			茜空	富所 ふみを				
渋川市長賞			花みずき(赤)	山岸 政好				
榛東村長賞			猫にひよっこ	岡本 弘行				
吉岡町長賞			ダイヤ	五十嵐 祐介				
群馬県商工会議所連合会長賞					吉方位駒	松倉 克幸		
群馬県商工会連合会長賞					ネコ楊枝	山岸 政好		
群馬県中小企業団体中央会長賞					物入れ1	田島 鉄夫		
上毛新聞社賞							鼓動	関 結衣子
朝日新聞社賞	躍動	藤川 衛一						
毎日新聞社賞	花宴	富所 千弥						
読売新聞社賞	静心	田村 昇						
産経新聞前橋支局賞	ホシオビ	沖 泰宣						
東京新聞賞	年ごろ	石曾根 八千代						
日本経済新聞社前橋支局長賞	祥福	富所 ふみを						
日本放送協会前橋放送局長賞								
群馬テレビ賞								
エフエム群馬賞								

資料2

担当：市民環境部環境政策課 課長 小林 悟 電話0279-22-2114 内線1140

市内の飲食業・宿泊業・食品製造業・食品小売業を対象に「しぶかわフードラブ協力店」を募集します！

渋川市は、食品ロスの削減の啓発を目的として、渋川市版食べきり協力店である「しぶかわフードラブ協力店」制度を導入し、4月15日(金)から募集を開始します。食品ロス削減のための取り組みを、事業者や市民に周知し、広げていきます。

1 内 容

渋川市は、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと）の削減への取り組みの一環として、市内で営業している飲食業・宿泊業・食品製造業・食品小売業を対象とし、しぶかわフードラブ協力店を募集します。

この事業は、食品ロスの削減に資する取り組みを行う店舗をしぶかわフードラブ協力店として登録し、市民等に広く周知することで、食品ロスの削減の推進を図るものです。

なお、協力店には、啓発物品等をお渡しいたします。来客者等へ食品ロスの削減への呼び掛けのほか、環境に配慮した店舗としてのイメージアップが期待されます。

2 募集開始日 令和4年4月15日(金)

3 登録条件

次の取り組みのうち、2つ以上を既に実施、もしくはこれから実施すること。

- 小盛り、ハーフサイズ等のメニュー設定がある
- 食べきった客への特典の付与
- 持ち帰り希望者への対応
- ばら売り、少量パック等による販売
- 閉店間際、賞味・消費期限切迫時における割引販売
- ポスター掲示等食品ロス削減への啓発
- フードバンク、子ども食堂への協力
- 30・10運動の呼びかけ
- その他店舗独自の食品ロス削減のための取り組み

4 店舗にお渡しする啓発物品等

- (1) ポスター 1店舗5枚まで
- (2) ステッカー 1店舗5枚まで
- (3) ドギーバッグ 1店舗50箱まで

5 申請方法

「しぶかわフードラブ協力店新規・変更登録申請書（様式第1号）」に必要事項を記入の上、環境森林課（令和4年度から課名が変更します）宛てに郵送、メール、窓口持参又は電子申請のいずれかにより申請してください。

問い合わせ・申請書類提出先 環境森林課森林・気候変動対策係（電話0279-22-2114）
郵送先 〒377-8501・渋川市石原80
メール kankyou@city.shibukawa.gunma.jp

6 ぐんまちゃんの食べきり協力店との同時申請

群馬県は、平成29年度から県内全域を対象として、「ぐんまちゃんの食べきり協力店」の募集を実施しています。本市は、県と連携した食品ロスの削減の取り組みとして、しぶかわフードラブ協力店へ登録する際、同時にぐんまちゃんの食べきり協力店へ登録できる制度を設けます。

7 その他

食品ロスの削減の推進を目的として食べきり協力店制度を導入している県内事例は以下のとおりです。

県・市	協力店名称	導入開始
群馬県	ぐんまちゃんの食べきり協力店	平成29年9月
前橋市	前橋市食べきり協力店	平成26年11月
高崎市	たかさき食品ロス0（ゼロ）協力店	平成26年12月
伊勢崎市	伊勢崎市食品ロス削減協力店	平成30年7月
みどり市	みどり市食べきり協力店	令和3年12月

資料3

担当：市民環境部環境政策課 課長 小林 悟 電話0279-22-2114 内線1140

フードドライブの資材を貸し出します

食品ロスの削減への取組の一つであるフードドライブ活動を支援するため、フードドライブを実施する各種団体等に、実施時に必要となる資材の貸し出しを開始します。

1 内 容

渋川市は、食品ロス（まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のこと）の削減への取り組みの一つであるフードドライブ活動の支援を目的として、フードドライブ実施時に必要となる資材を貸し出します。

※フードドライブとは？

Food（食べ物）とDrive（運動）を組み合わせた言葉で、家庭や職場等で余った食品を持ち寄り、食べ物を必要とする方々へ寄付する運動のこと。

2 貸し出しする資材

- (1) 食品回収用コンテナ（5台まで）
- (2) のぼり旗（3枚まで）
- (3) のぼり旗用ポール（3本まで）
- (4) のぼり旗用移動式スタンド（3台まで）

3 貸し出し対象

- (1) 市内に所在する団体（学校、自治会、その他任意団体）
- (2) 市内に事業所を有する法人

4 貸し出し期間 1カ月以内

5 費 用 無料

6 申請方法

市ホームページ又は窓口で申請様式を入手し、必要事項を記入の上、環境森林課森林・気候変動対策係（令和4年度から課名が変更します）宛てに郵送（〒377-8501・渋川市石原80）、メール（kankyou@city.shibukawa.gunma.jp）又は窓口持参のいずれかにより申請してください。

なお、フードドライブ実施日の7日前までに申請が必要です。

7 貸し出し・返却方法

貸し出し・返却ともに、環境森林課窓口で対応します。資材はフードドライブ実施後7日以内に返却してください。その際、実績報告書の提出も必要です。

8 その他

フードドライブの資材の貸し出しは、県内では初の取り組みです。

参考

貸し出しする資材

- 1 食品回収用コンテナ
幅53cm×奥行37cm×高さ33cm



- 2 のぼり旗
縦150cm×幅45cm



- 3 のぼり旗用ポール



- 4 のぼり旗用移動式スタンド (130)



資料4

担当：市民環境部環境政策課 課長 小林 悟 電話0279-22-2114 内線1140

地球温暖化対策推進事業により 2050年カーボンニュートラル実現へ向けた 取り組みを行います

2050年カーボンニュートラル実現へ向けた取り組みとして、住宅への再生可能エネルギー機器設置や、電気自動車等（EV及びPHV）の購入及び住宅への普通充電設備設置などに対し費用の一部を助成します。

また、意見交換会などの実施により、市民や事業者の意識醸成を図ります。

1 目的

2050年カーボンニュートラル実現は、市民や事業者の意識や行動の変容が重要であることから、市民の脱炭素の取り組みを支援するとともに意識醸成を図ります。

2 概要

(1) 市民生活における脱炭素推進のための取り組み

ア 再生可能エネルギー機器設置助成事業

家庭における温室効果ガスの排出抑制を図るため、再生可能エネルギー機器（定置用リチウムイオン蓄電池、HEMS機器、V2H（電気自動車充電システム）、定置用リチウムイオン蓄電池又はV2Hと同時に設置する太陽光発電システム、ペレットストーブ）の設置費用に対して助成を行います。

- ・蓄電池＝5万円
- ・HEMS＝1万円
- ・V2H＝5万円
- ・太陽光＝5万円
- ・ペレットストーブ＝購入費の2分の1（上限5万円）※拡充

イ クリーンエネルギー自動車助成事業

自動車の利用における温室効果ガスの排出抑制を推進するため、クリーンエネルギー自動車（EV又はPHV）及び電気自動車用普通充電設備を導入する市民に対して助成を行います。

- ・EVまたはPHV＝5万円
- ・普通充電器＝購入費の2分の1（上限5万円）※拡充

(2) 市民や事業者の意識醸成に向けた取り組み

ア 講演会及び意見交換会の実施

脱炭素社会への転換に向けた意識醸成のため、市民や市内事業者を対象とする講演会等を実施するとともに、意見交換会等を実施します。

イ グリーンカーテン普及啓発事業

温室効果ガス排出削減適応（気候変動緩和策）、暑さ対策及び環境学習（気候変動適応策）を目的として、市民及び学校等を対象にゴーヤ苗等を配布することでグリーンカーテンの普及を推進します。

ウ 脱炭素社会への転換に向けた啓発事業

市民環境大学や、親と子の環境学習会等の環境学習事業と連携する等により、脱炭素社会への転換に向けた意識醸成のための学習機会を提供します。

(3) 電気自動車用普及促進のための取り組み

走行中に温室効果ガスの排出をしない電気自動車の普及促進のため、市内の道の駅に設置する電気自動車用急速充電器の維持管理を行うほか、2035年ガソリン車新車販売禁止に向け、電気自動車充電スポット空白地帯におけるインフラ整備について検討を行います。

(4) 温室効果ガス削減に係るその他の取り組み

渋川市地球温暖化対策実行計画の改訂を行い、本市が行う事務・事業に関わる活動に伴って発生する温室効果ガスの積極的かつ持続的な削減を図ります。

3 令和4年度予算計上額 812万7千円

4 周知の方法

各事業の募集、申請手続きについて、市ホームページや「広報しぶかわ」への掲載により周知します。

5 その他

令和4年度から環境政策課は、環境森林課に課名が変更となります。

資料5

担当：産業観光部観光課 課長 寺島 剛 電話0279-22-2873 内線4880

愛郷ぐんまプロジェクト第4弾に伴う しぶかわ観光応援キャンペーンを実施します

4月1日(金)から予定されている愛郷ぐんまプロジェクト第4弾の実施に伴い、愛郷ぐんまプロジェクトの利用者に地域限定クーポンとして「渋川市ふるさと感謝券」を配布する「しぶかわ観光応援キャンペーン」を実施します。

1 趣 旨

渋川市は、群馬県が新型コロナ「第6波」収束後の経済活動再開に向けた需要喚起策の一つとして行う「愛郷ぐんまプロジェクト第4弾」の実施に伴い、地域限定クーポンとして「渋川市ふるさと感謝券」を配布する「しぶかわ観光応援キャンペーン」を行い、県内宿泊客の誘客と地域経済の活性化を図ります。

※本事業は「愛郷ぐんまプロジェクト第2弾」及び「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」の際も実施しましたが、いずれも新型コロナウイルス感染状況の悪化により、当初の予定期間前に中止となりました。

2 概 要

愛郷ぐんまプロジェクト第4弾を利用して市内の同プロジェクト登録施設に宿泊した人に対し、市内の取扱店舗で利用可能な「渋川市ふるさと感謝券」を地域限定クーポンとして配布します。

※本事業で配布する渋川市ふるさと感謝券は、宿泊費には利用できません。

3 対象者

愛郷ぐんまプロジェクト第4弾を利用し、市内の登録施設に宿泊した群馬県民

※今後、同プロジェクトの対象が、隣接県及び地域ブロックの都県の同意により順次追加となる予定です。

4 対象金額及び感謝券配布金額

1人1泊税込7,001円以上の宿泊料金で2,000円分のふるさと感謝券を配布。

ただし、1施設につき1人当たり3連泊分(合計6,000円分)までを上限とします。

5 対象期間

令和4年4月1日(金)宿泊分～4月28日(木)宿泊分まで

※愛郷ぐんまプロジェクト第4弾の実施期間としますが、新型コロナウイルスの感染状況やGotoトラベルの再開により、本事業を中止することがあります。

6 配布方法 対象者が宿泊日にチェックインした際に、各施設のフロントで配布

7 有効期限 令和4年4月30日(土)まで

8 渋川市ふるさと感謝券利用可能店舗数

201軒(令和4年1月18日現在)

【内訳】飲食店：94 小売店：36 宿泊施設：39 観光施設：20 ゴルフ場：4
その他：8

※前は88軒

9 予算額 1億8,107万円

※上記のうち、9,494万1千円を3月補正予算で追加措置済み

参考

「しづかわ観光応援キャンペーン」これまでの実施状況

(1) 愛郷ぐんま第2弾に伴って実施

①実施期間 令和3年3月26日(金)～4月28日(水)

②利用実績 3万4,754枚(3,475万4,000円)

③実施内容

- ・群馬県民対象
- ・当初1,000円分、4月12日から2,000円分を配布
- ・当初予定は5月31日まで、新型コロナ第4波により事業を中止

(2) 愛郷ぐんま第3弾に伴って実施

①実施期間 令和3年11月1日(月)～令和4年1月18日(火)

②利用実績 17万8,936枚／1億7,893万6,000円

③実施内容

- ・当初群馬県民対象、令和4年1月4日から隣県に対象を拡大
- ・1人1泊当たり2,000円分を配布
- ・当初予定は1月31日まで、新型コロナ第6波により事業を中止

資料6

担当：建設交通部土木管理課 課長 萩原 義人 電話0279-22-2102 内線4730

芝附橋の開通式を開催します

渋川市八木原地内の午王川（ごおうがわ）に架かる芝附橋（しばつけばし）の架け替え工事が完成したことから、令和4年3月30日（水）に開通式を開催します。

1 概要

芝附橋は、八木原地内の北部に位置し、一級河川午王川に架かる橋です。地域住民をはじめ、JR八木原駅へ連絡する路線でもあることから、通勤や通学する多くの方が、利用しています。

以前の橋や前後の道路は、幅員が狭く、車両や歩行者の通行に支障が生じていたため、橋りょう整備、道路拡幅などの要望が地元自治会からありました。橋りょうの老朽化も著しかったことから、通行の安全を確保するため、市道1-1566号線道路改良に併せて、架け替え工事を平成30年度から本格的に着手しました。

この度、架け替え工事が令和4年3月に完成したため、開通式を開催するものです。

2 工事内容

(1) 橋りょう形式

①上部工

- ・種別：プレストレスコンクリート道路橋
- ・形式：プレテンション方式PC単純桁
- ・橋長：L=13.9m

②下部工

- ・躯体：逆T式橋台
- ・基礎：杭基礎工法（プレボーリング工法・PHC杭）

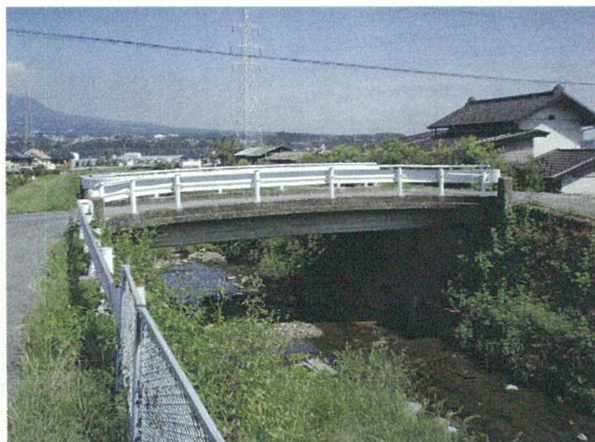
(2) 道路計画（市道1-1566号線）

- ・計画延長：L=221m
- ・計画幅員：W=6.5m

(3) 事業費

- ・総事業費：約3億3千万円

【着工前】



【完成】



3 開通式の開催

(1) 日 時 令和4年3月30日(水) 午前10時(約1時間)

(2) 場 所 芝附橋付近(八木原地内)
※現地の案内図は別紙のとおり

(3) 内 容

- ①市長挨拶
- ②来賓祝辞(渋川市議会議長、八木原自治会長)
- ③事業説明
- ④橋名板設置
- ⑤テープカット(記念撮影)
- ⑥渡り初め

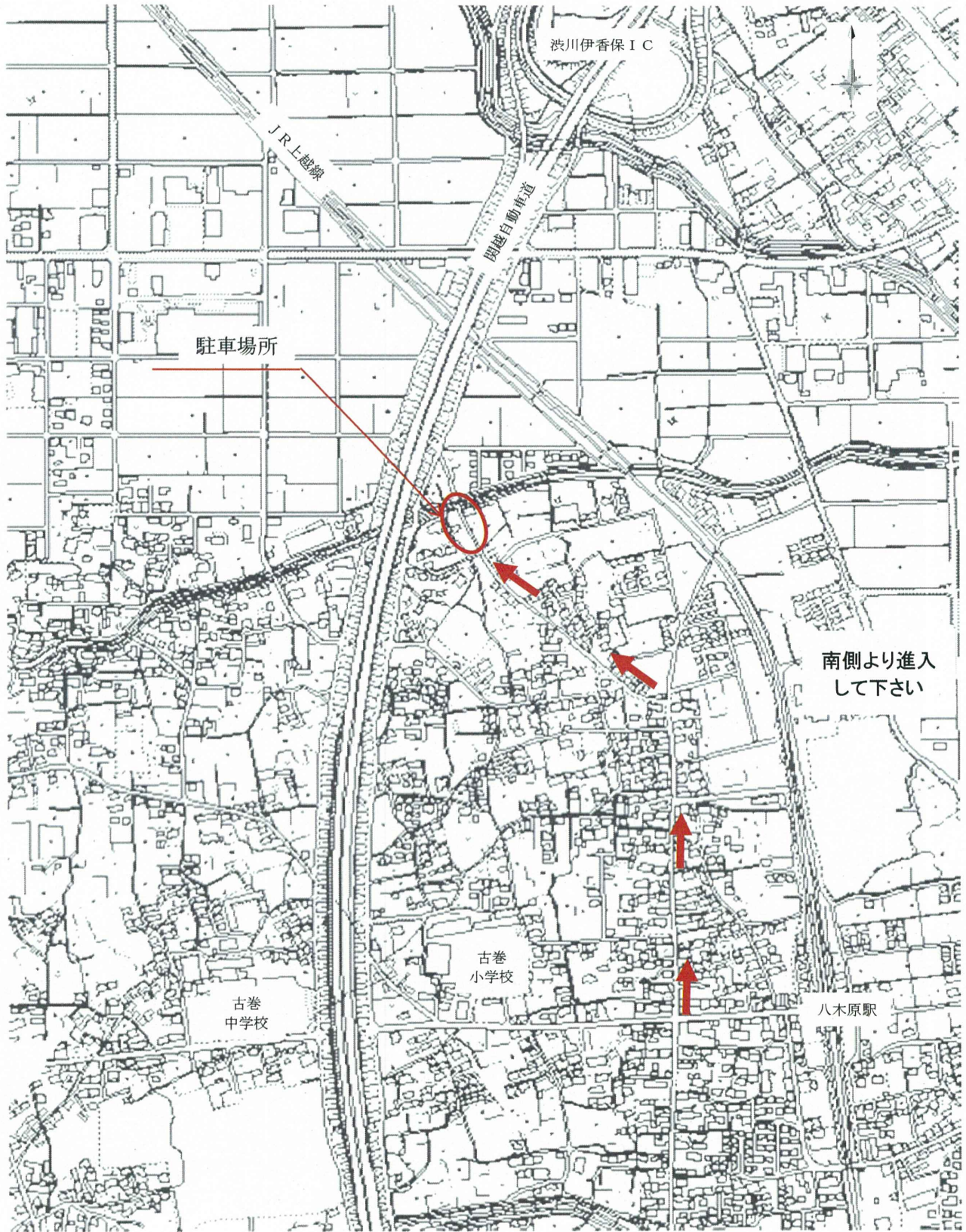
4 橋名板の設置

橋の建設に当たり、橋りょう及び河川の名称、設置年度を記した橋名板を設置します。当該橋りょうにおきましては、古巻小学校の協力により、この春に卒業した3名の児童に、橋名板を書き下ろしてもらいました。当日は、同校の校長及び児童3名に同席していただき、橋名板の設置をしていただきます。

【渋川市立古巻小学校の児童が揮毫した橋名板】



案内図



資料7

担当：スポーツ健康部健康増進課 課長 一場 悦子 電話0279-25-1321 内線4600

しぶかわリトルベビーハンドブックの配布を開始しました

小さく生まれた赤ちゃんの成長にあわせた記録ができる「しぶかわリトルベビーハンドブック」の配布を、3月15日から開始しました。

渋川市は、1人1人の個性を大切にした育児を応援していきます。

1 目的

小さく生まれた赤ちゃんの成長と保護者の育児を応援し、子育てしやすい渋川市の実現に向けて、しぶかわリトルベビーハンドブックを作成しました。

2 概要

「しぶかわリトルベビーハンドブック」は、小さく生まれた赤ちゃんの保護者が、子どもの成長に合わせて記入することのできる母子健康手帳の副読本です。

このハンドブックは、赤ちゃんが出産予定日より早く生まれた場合でも、発達を記録しやすいように工夫してあります。赤ちゃんの誕生日ではなく出産予定日から数えた月数である修正月齢で、身長や体重・発達について記録できるようになっています。



3 配布対象者

- (1) 1,500g以下の極低出生体重児を出産した保護者
- (2) 2,500g以下の低出生体重児を出産した保護者のうち希望者

4 配布開始日 令和4年3月15日

5 配布方法

未熟児養育医療の手続き等で保健センターに来所した時や、新生児訪問時、各乳幼児健診受診時に配布します。

6 年間配布見込み数 10部

7 その他

県内12市における同様のハンドブックの配布は、富岡市に次いで2例目となります。